

# 裁判員等経験者の意見交換会開催概要

令和6年2月28日(水) 開催

岡山地方裁判所

この意見交換会は、裁判員又は補充裁判員の経験者の皆様との意見交換を通じて、分かりやすい審理の在り方を検討し、裁判員制度の運用改善の参考とするものです。

御参加いただきました皆様からお寄せいただいた御意見や御感想は次のとおりです。



さいニャン

## 裁判員裁判に参加した全体的な感想

皆さんそれぞれ誰かの意見に引きずられるということもなく、自分の意見を言うておられて、意見交換の場になっていたのがすごく印象的でした。

私は医療従事者で他人の認知や人生に日常的に関わってきたつもりでしたが、今回担当した事件を通じて、もっと深く他人の人生を真剣に考えないといけないなと強く反省しました。

色々な不安を抱えながら初日を迎えましたが、裁判官の方々が話しやすい空気感を作ってくれ、疑問についても分かりやすい言葉で説明してくれたので安心して話をすることができました。

私自身は法律を知らなかったもので、全く未知の世界でしたが、その中で裁判官や他の裁判員等とチームで議論を重ねて、今回やりきれたかなというところで満足感があります。

## 審理・評議における感想や意見

検察官、弁護士、双方ともとても整理された資料を作られており、論点とすべきポイントなども要所要所押さえておられたので大変やりやすかったです。

正直、裁判員裁判に参加するまでは、裁判員はプロの判事が模範的なものを決めてそれについていくだけというイメージでしたが、実際には裁判員一人一人が積極的な意見を述べており、そして想像以上に自分たちの意見が判決等に反映されるのだなと思いました。民意を反映した制度だと感じました。

## これから裁判員になられる方へのメッセージ

裁判員になると自分の疑問を実際に被告人へ質問することができ、傍聴席では絶対にできないようなことをすることができました。犯罪に対しての考え方も違って来るのかもしれないので、そういう経験をしていただきたいです。

裁判員になると人の人生に携わっていくので、やはりものすごく大変だと思いますが、私自身は物事を俯瞰して、また違う見方をすることができるようになったところがあります。すごく良い経験になると思うので是非参加して欲しいです。

評議の時など、普段の日常生活の中では話す機会がない年齢や職業の方たちとたくさん話せますので、それだけでも学びはあります。人の人生を決めてしまう可能性があるのが怖いと思う気持ちはもちろんありますが、是非参加して欲しいと思います。

ここまで人の人生に深く関わられるような機会は普段の生活をしていくなかなかないことですので、それができるということだけでも自分自身の学びのために、とても有益であると考えます。是非、辞退せずに積極的に参加して欲しいです。

## 裁判員を経験して良かったこと、感じたこと

判決がニュースで報道されると、インターネット上ではその内容について批判的な意見が見られることもあるかと思いますが、その判決は下した人たちが苦悩して出した答えであり、理由があるということが分かった点が私の中で一番プラスになったかなと思います。

裁判員を経験してみて、改めて裁判員の役割というのは、一般的な市民感覚を反映させることができるということが一番大きなことだと感じました。

御参加いただいた皆様、貴重な御意見をいただきありがとうございます！

